

法人の主な行事：7月～10月

- ・訪韓：国際交流を続けている韓国の社会福祉法人「平安の家」を訪問 7/7-7/10



↑訪韓



↑訪日

- ・訪日：韓国の社会福祉法人「平安の家」から、来訪!! 9/15-9/18

- ・ISO9001内部監査員レベルアップ研修&養成講座 8/8
- ・介護員養成研修事業 ※受講者は5名 9/5-2/20
- ・後期新入職員オリエンテーション 10/14

FMひがしくるめ の

☆番組紹介☆その時、人生は変わった！ に

高原理事長がゲスト出演 7月11日(木)

以下ブログの記事をそのまま載せています(FMひがしくるめ許可済)。ナビゲーター 八木恵さん

マザアス東久留米は氷川台にある特別養護老人ホームです。理事長である高原さんのターニングポイントは人との出会いです。一つめの出会いは高原さんが病院事務長をしていた時に会った渡邊二郎さん。会社経営をされていた渡邊さんは高原さんのいる病院に入院されていました。医療従事者たちの誠実な対応に心動かされ、6億円相当の土地を寄付されます。寄付をもとに特別養護老人ホームシャローム(横須賀市)を開設し高原さんは施設長に就任されます。



二つめの出会いは、シャロームの見学に来たミサワホームの社長さんです。東久留米市東部地域に特別養護老人ホームを作りたいという思いに、2億5千万の寄付をされます。この寄付をもとにマザアス東久留米が設立されます。番組では、入所されている方の「つぎに生まれてくるときにはお世話する側になりたい」。病院で看取りが当然だった時代に施設での看取りをとりいれ、入所者の方の「さみしい」という思いに担当職員の方が「添い寝」をされたお話など、感動のエピソードをお話いただきました。

お寄せいただいた善意に、誠実にひたむきに善意で応えていく。すると思いがけない展開が待っていた。まさにその時、人生は変わった。

編集後記：地球は我々が住むのにどこまで耐ええるようにできているのでしょうか。気候変動、人口爆発、医療や教育、豊かな生活を追い求める先には、矛盾が見え隠れする地球温暖化対策。行く手にはなにが見えてくるのか。人間の英知が試されることでしょう。その解決は個人から家庭から始まるのかも知れません。マザーテレサが、ノーベル平和賞を受賞したときに、報道陣から質問されました。わたしたち一般人が、世界平和のためにできることはなんですか？マザーテレサは答えました。あなたの家に帰って家族を愛してください。それが、あなたが世界平和のためにできることです。(草野)

ひだまり

No.87

発行責任者：高原敏夫 発行元：社会福祉法人マザアス 〒203-0004 東京都東久留米市氷川台二丁目5番7号

TEL. 042-477-7261 FAX. 042-477-7500

http://www.moth.or.jp

No. 87

2019年10月31日

マザアスニュース

ひだまり



MOTHERTH

MOTHERTH NURSINGHOME FOR THE AGED

マザアス そこに笑顔あふれる あなたの居場所



あったカフェ 小規模多機能ホームさかまち内



報告（アクティブ福祉 in 東京 '19）

9月30日（月）、新宿にある新宿京王プラザホテルで、アクティブ福祉IN東京'19（第14回高齢者福祉・実践研究大会）が開催されました。この大会は、都内の高齢者福祉施設・介護事業所が日ごろの実践を発表するものです。60を超える事業所が大会に参加し、約1100名の方が来場しました。看取りケア、認知症ケア、リスクマネジメント、日常ケアの向上、ソーシャルワーク等、テーマごとに会場が分かれるスタイルで行われました。マザアスからは新宿拠点1題、日野拠点3題、東久留米拠点1題の合計5つのテーマで発表を行いました。



【マザアス新宿】

テーマ「ボランティアという社会資源を繋げる地域密着型複合施設としての取り組み」

副題 地域交流スペースを利用した利用者・地域住民との交流支援

発表者 中村美奈子

内容をできるだけわかりやすくパワポの作成を工夫しました。初めての発表です。

【マザアス東久留米】

テーマ「入院治療中に発症し悪化した両踵褥瘡を他職種協働で完治させた5ヶ月間の実践報告」

副題 主治医との信頼関係、毎日の足浴、ご本人の食欲が褥瘡完治の鍵となった

発表者 清田由美、上原陽介



【マザアス日野 居宅介護支援事業所 多摩川苑】

テーマ「アドバンス・ケア・プランニングの取り組みに向けた職員の不安と葛藤」

副題 終末期にケアマネジャーにできること

発表者 安澤綾子、鈴木信行



【マザアス日野 日野市地域包括支援センター 多摩川苑】

テーマ「認知症への理解があり、皆で支え合える地域にするための世代や分野を超えて繋がる取り組み」

副題 ユニバーサルカフェや見守り隊等の実践

発表者 浅見ゆかり、坂本光徳



【特別養護老人ホーム マザアス日野】

テーマ「特養入居者が現役で地域の中で働く場所を確保できる取り組みについて」

副題 高齢であっても施設に入所していても要介護状態であっても働く場を持つ

発表者 保住州干子、木蜜聡



今年、惜しくも入賞は逃しましたが、どの発表もとても充実した内容でした。それぞれの会場で、多くの人に来ていただいたことに心から感謝しています。

多くの人に来ていただけたこと、これは学生をはじめ同業者にも関心を持ってもらえるテーマ設定ができていたのだと実感しています。また、当日に向けて発表者・協働実践者はもちろんのこと、他部署のスタッフも一緒に準備している様子が見られました。マザアスの「チームワークの良さ」を目の当たりにして、とても嬉しく思いました。

日頃の業務を行いながら、資料をまとめ発表原稿の手直しをすることはとても大変だったと思います。発表者・協働実践者の皆さんおつかれさまでした！！